

U.S. Indicators

発表日:2021年4月16日(金)

米国 3月生産は半導体不足で予想下振れ

～サプライチェーンの問題が米生産活動の回復ペースを抑制～

第一生命経済研究所 調査研究本部 経済調査部
主任エコノミスト 桂畑 誠治(Tel:03-5221-5001)

21年3月の鉱工業生産は、前月比+1.4%（2月同▲2.6%）と市場予想同+2.5%を下回ったうえ、20年10月-21年2月合計で0.5%p下方修正された。鉱業が石油・ガス掘削の増加で前月比+5.7%（2月同▲5.6%）と拡大に転じたものの、公益が気温の上昇により前月比▲11.4%（2月同+9.2%）と失速したほか、製造業は前月比+2.7%（2月同▲3.7%）と市場予想の同+3.6%を下回った（20年10月-21年2月合計で0.5%p下方修正）。3月の生産活動は、2月に米国を襲った大寒波の反動で上昇に転じたものの、半導体不足の深刻化による自動車生産などへの影響が大きく、拡大幅が抑えられた。3ヶ月移動平均・3ヶ月前対比年率では、鉱工業生産が+2.5%（前月+7.0%）、製造業生産が+1.9%（前月+5.9%）とプラス幅を縮小した。

米国の生産は、新型コロナウイルスのパンデミックによって世界規模で経済活動が制限を受けており、新型コロナウイルス危機前の水準を依然下回っている。ただし、コロナ禍でも財需要が拡大していることや行動規制の直接的な影響を受け難いこと等から、米国の生産活動は緩やかな回復傾向を辿っている。

鉱工業の設備稼働率は、生産の拡大によって74.4%（前月73.4%）と上昇したが、生産が予想を下振れたため、市場予想の75.6%を大幅に下回った。また、製造業も73.8%（前月71.9%）と上昇した。

今後に関して、経済支援策による需要拡大、テレワークや巣ごもりなどによる財需要の拡大傾向、在庫不足等を背景に、製造業生産は前月比で拡大モメンタムを維持すると予想される。ただし、世界的な需要拡大や火災など供給問題による半導体不足の継続で、21年前半の生産は抑制される公算が大きい。

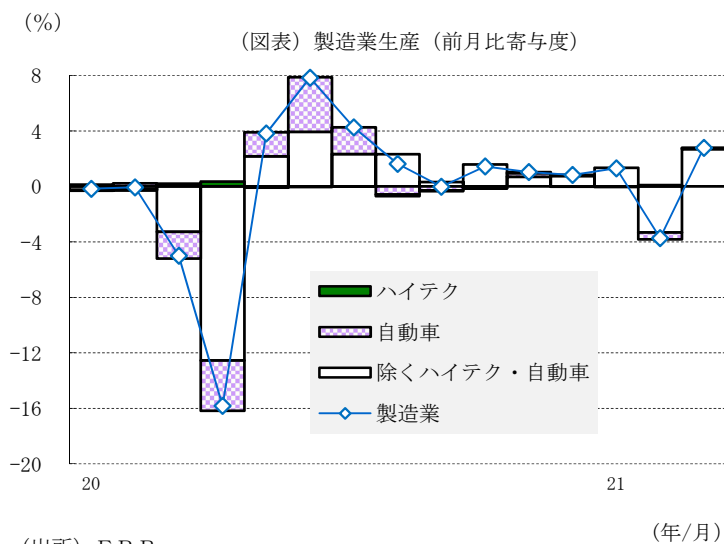
鉱工業生産

	鉱工業生産		製造業 (NAICS)					設備稼働率			生産能力
	前月比	20年10月-21年2月	製造業 (NAICS)	鉱業	公益	ハイテク 関連	除ハイテク 関連	自動車関連	全産業	製造業 (SIC)	
20/03	▲4.4	(▲4.7)	▲5.0	▲1.7	▲3.1	+1.3	▲5.0	▲29.2	+73.6	+71.4	+0.0
20/04	▲12.7	(▲16.3)	▲15.8	▲6.8	+1.8	▲2.3	▲15.8	▲76.7	+64.2	+60.1	▲0.0
20/05	+0.9	(▲15.7)	+3.8	▲11.3	▲0.7	▲0.8	+3.7	+110.4	+64.8	+62.4	▲0.0
20/06	+6.2	(▲10.5)	+7.7	+2.5	+1.3	+2.2	+7.5	+125.6	+68.9	+67.2	▲0.0
20/07	+4.2	(▲6.6)	+4.2	+3.4	+5.1	+2.1	+4.2	+31.0	+71.8	+70.1	▲0.0
20/08	+1.0	(▲6.3)	+1.7	▲1.0	▲1.7	+0.5	+1.8	▲3.9	+72.5	+71.3	▲0.0
20/09	▲0.1	(▲6.1)	+0.1	+0.9	▲2.2	+1.5	+0.0	▲2.4	+72.5	+71.4	▲0.0
20/10	+1.1	(▲4.7)	+1.5	▲1.7	+1.5	+1.9	+1.5	+0.3	+73.2	+72.4	▲0.0
20/11	+0.9	(▲4.7)	+0.9	+3.6	▲2.5	+0.2	+1.0	+3.0	+73.9	+73.1	▲0.0
20/12	+1.0	(▲3.4)	+0.7	+0.5	+3.8	▲0.4	+0.7	▲0.8	+74.7	+73.7	▲0.0
21/01	+0.9	(▲2.1)	+1.3	+2.1	▲3.1	+0.8	+1.2	+1.0	+75.3	+74.6	+0.0
21/02	▲2.6	(▲4.8)	▲3.7	▲5.6	+9.2	+0.1	▲3.7	▲10.0	+73.4	+71.9	+0.0
21/03	+1.4	(+1.0)	+2.7	+5.7	▲11.4	+1.8	+2.7	+2.8	+74.4	+73.8	+0.0

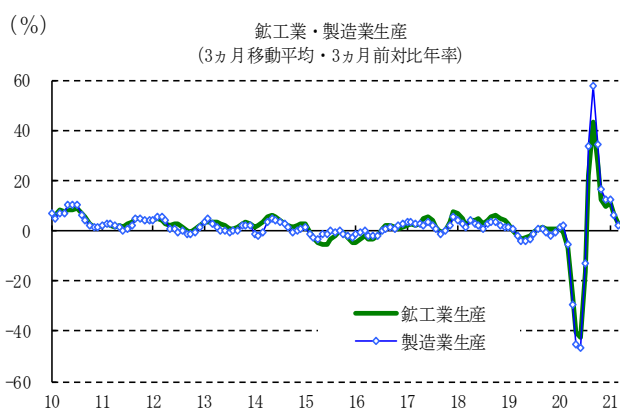
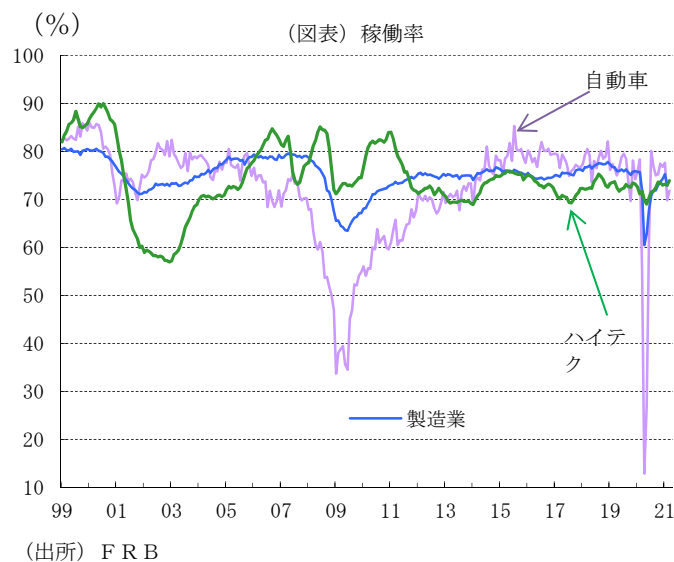
(注)カッコ内は前年比

業種別の動向をみると、前月比で減少した業種は、プラスチック・ゴム（▲1.1%）の1業種にとどまった。一方、前月比で増加した業種は、拡大幅の大きい順に、石油・石炭製品（+5.7%）、航空宇宙・その他輸送機器幅（+4.3%）、加工金属（+4.2%）、化学（+4.1%）、非鉄（+3.9%）、印刷・同サポート（+3.0%）、一般機械（+2.9%）、一次金属（+2.8%）、自動車・同部品（+2.8%）、木材製品（+2.4%）、その他耐久財（+2.3%）、家具・関連製品（+2.1%）、コンピューター・電子（+2.0%）、繊維（+2.0%）、アパレル・皮革（+2.0%）、食品・飲料・タバコ（+1.7%）、電気設備・機器・同部品（+0.9%）、紙パ（+0.9%）となった。その他製造業は0.0%と変わらず。

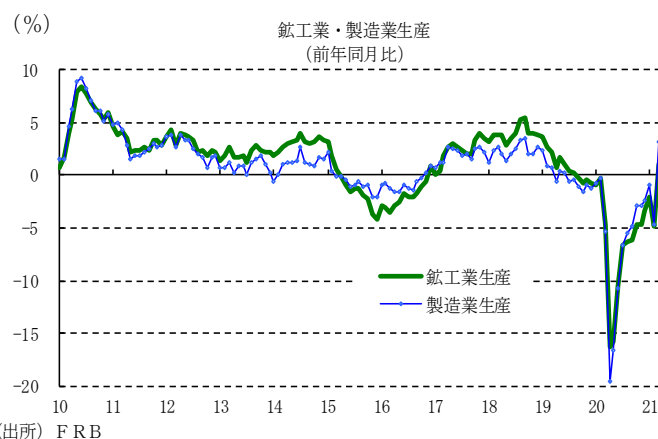
前年比で減少した業種は、減少幅の大きい順にその他製造業（▲9.6%）、印刷・同サポート（▲4.5%）、家具・同製品（▲4.5%）、化学（▲2.9%）、紙・パ（▲1.6%）、非鉄（▲0.7%）と続いた。一方、前年比で拡大した業種は、自動車・同部品（+29.7%）、航空宇宙・その他輸送機器（+13.2%）、アパレル・皮革（+7.6%）、一般機械（+5.5%）、木材製品（+5.1%）、食品・飲料・タバコ（+4.1%）、プラスチック・ゴム（+3.5%）、繊維（+2.4%）、コンピューター・電子（+1.8%）、電気設備・機器・同部品（+0.9%）、加工金属（+0.8%）、石油・石炭製品（+0.6%）、一次金属（+0.1%）



(出所) FRB



(出所) FRB



(出所) FRB

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命保険ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

